

# 安全マニュアル 5 (灯火採集)

2020年11月1日改定

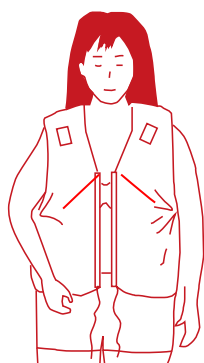
東京大学大学院理学系研究科附属臨海実験所 (採集室)

## 1. 気象・海況等の確認

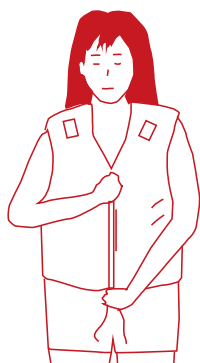
- ・採集を行う前に、当日の最満潮時間・気象・海況を必ずインターネットなどで情報入手した上で、実施の可否について採集室に必ず確認してください。
- ・実施の判断がつきにくい状況の場合、採集室からもアドバイスいたしますが、実習の場合は担当教員が最終判断を行ってください。研究者の場合は、採集室が最終判断を行います。

## 2. 服装

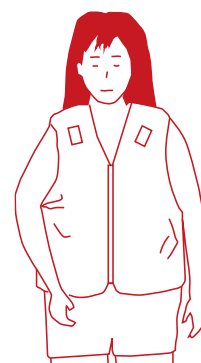
- ・怪我防止のため長袖長ズボンなど肌の露出を少なくし、軍手を着用してください。
- ・長靴やマリンシューズなどの滑りにくい履物を履いてください (サンダルや裸足は禁止)。
- ・ライトを持参してください。(ライトを人の目に向けないでください)
- ・ライフジャケットを必ず着用してください (下図参照)。ライフジャケットは教育棟実習室2にあります。



① 腕を通して着用し、胸元の紐を結ぶ。左右のバックルでサイズを調節する



② ファスナーを閉じ、すそ締めロープを結ぶ



③ 結んだロープを内側に押し込む

## 3. 採集中の注意

- ・明るいうちに棧橋小屋手前の外灯のスイッチと、灯火採集用の電源の場所 (棧橋の脇にある小屋) を確認し、セットしておいてください。暗くなってからで

は危険です。照明器具は採集作業棟にあります。

- ・感電防止のため、先に栈橋に照明器具を取り付けてから電源を入れてください。ぬれた手で照明器具の操作はしないでください。
- ・栈橋スロープには、船舶を引き上げるための敷板や船舶固定用のビットがありますので、足元に注意してなるべく海に向かって右側を歩いてください。
- ・栈橋スロープは、干潮時は滑りやすくカキ殻の露出などで大変危険なので、特に注意してください。
- ・栈橋にある2本の木製ハシゴは動物飼育用です。転落の危険があるため絶対に立ち入らないでください。
- ・採集に熱中し身を乗り出しすぎないようにしてください。転落の恐れがあります。
- ・万一、転落者が出た場合は、栈橋先端に設置してある救命浮環を投入し、救助してください。救命浮環の設置場所は事前に確認してください。
- ・栈橋で柄の長いたも網を使用する際は、後ろに人がいないことを確認してください。海に押し出して転落してしまったり、万一、人の目を突いたりすると失明の危険があります。
- ・飲酒しながら、または飲酒後の灯火採集は**厳禁**です。

### 3 - 1. 採集禁止の生物

みうら漁協では、漁業資源として下記の重要な生物の**採集は禁止**されています。  
アサリ・マガキ・イワガキ・サザエ・アワビ類・トコブシ・バテイラなどの貝  
マダコ・イイダコ・イワイソメ・イセエビ・シャコ・ムラサキウニ・アカウニ  
・マナマコ

ワカメ・ヒジキ・カジメ・アマノリ類・カヤモノリ・マクサ類などの海藻  
絶対に採集しないでください。

### 3 - 2. 危険な生物

・危険な動物に注意してください。万一、受傷した場合は、速やかに病院で医師の診察を受けてください。

#### 1) アカエイ…[図 1]

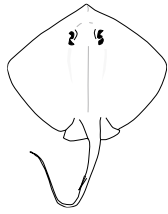
尾部に毒棘をもつ。刺されると深い傷を受けやすく、毒も強いので危険。

#### 2) ゴンズイ…[図 2]

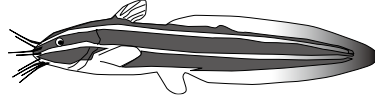
ナマズの仲間、背びれと胸びれに強い毒棘があり、刺されると激痛が長時間続く。

#### 3) ハオコゼ…[図 3]

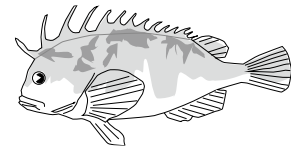
赤い小形魚で、背びれ・腹びれ・尻びれに毒棘が並ぶ。



【図1】 アカエイ



【図2】 ゴンズイ



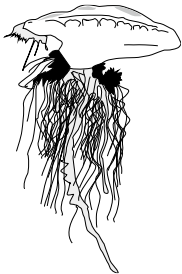
【図3】 ハオコゼ

4) カツオノエボシ【図4】、アンドンクラゲ、アカクラゲ  
毒が強いのので気をつける。

5) ガンガゼ【図5】

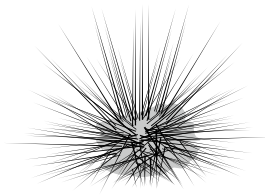
非常に長い棘があり、深く刺さりやすく、折れやすいため抜けなくなる。

6) ウミヘビ類（ダイナンウミヘビ【図6】など）、フグ類（クサフグなど）、  
ワタリガニ類（イシガニ【図7】など）  
毒はないが爪や歯が鋭く危険。また、フグ類は食べると危険。



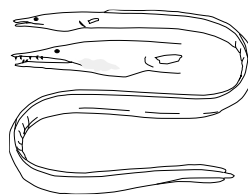
【図4】

カツオノエボシ



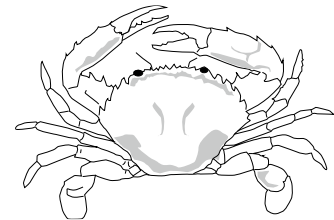
【図5】

ガンガゼ



【図6】

ダイナンウミヘビ



【図7】

イシガニ

### 3 - 3. 海岸等の漂着物

・海岸等の漂着物には、危険物もありますので注意をしてください。詳しく知りたい方は以下の URL を参照してください。

(国土交通省 HP 内 海岸漂着危険物ハンドブック)

<http://www.mlit.go.jp/common/000043930.pdf>

#### 4. 採集が終わったら

・灯火採集終了後、照明器具の電源を落としてもしばらくは電球が熱いままです。やけどに気をつけて片づけてください。

#### ★緊急連絡先★

・ 臨海実験所事務室：046-881-4105

・ 採集室：046-881-4107

(17 時以降、職員は帰宅しています。実験所の担当教員と連絡がとれる電話番号を確認しておいてください。電話が通じない場合、研究棟の電気が点いていれば裏口のインターホンを押してみてください)

・ 東京大学理学部地区防災センター：03-5841-8299

・ 三浦市立病院：046-882-2111